

都市計画たより

令和元年度版

令和元年度 都市計画検討グループの活動報告

はじめに

日頃は、都市計画検討グループ活動に対してご理解ご協力を頂き、ありがとうございます。

本年度の都市計画検討グループでは、4月から会員の募集、都市計画委員会の活動が始まり、6月の合同ワーキンググループ（以下WG）、7月の都市計画検討グループ総会、11、12月の各WG企画に対し、業務ご多忙の中、多くの会員の皆様にご参加いただきました。

会員の皆様のご協力・ご参加により、令和元年度の活動も無事終了しましたこと心より感謝しております。

今年度の活動を「都市計画たより」としてとりまとめました。ご高覧頂くとともに、来年度の活動の参考としていただければ幸いです。

来年度も、皆様からの要望を踏まえて、「仕事の役に立つ魅力的な企画」を検討していく予定です。奮ってのご参加をお待ちしております。引き続き、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

都市計画委員長 河村和紀

令和元年度 都市計画検討グループの活動内容

令和元年度は、下記の通り「会員参加型企画」及び「委員会活動」を実施しました。

1. 会員参加型企画

- 合同WG（6/27） : 52名（12社）・・・P.2
- 都市計画委員会総会（7/22） : 52名（20社）・・・P.5
- 都市整備WG講習会（11/7） : 36名（12社）・・・P.8
- 交通WG講習会（12/6） : 35名（15社）・・・P.9
- アウトスクーフWG講習・見学会（11/20） : 30名（13社）・・・P.10

2. 委員会活動

- 交通技術研修会参加（8月）
- 愛知県震災復興都市計画模擬訓練：アドバイザー派遣（8月）
- 設立50周年記念社会貢献イベント参加（9月）
- 業務技術発表会運営補助（10月）
- 建設技術フェア2019in中部 学生交流ひろば対応（10月）
- 発注者意見交換会（11月・12月）
- 都市計画委員会：毎月開催：（全8回、4月～12月）

令和元年度 都市計画検討グループ WG活動に関する合同意見交換会 報告

開催日程等


日 時：令和元年 6月27日（木） 17:00～20:00

場 所：IMY ホール・会議室 9階 IMY ホール 名古屋市東区葵 3-7-14



参加者：52名（都市WG：24名、交通WG8名、ランドスケープWG：7名）、委員13名

合同WGの意見を踏まえ、令和元年度の各WG活動（見学会、講習会等）について、検討グループメンバーによる意見交換を行い、以下の方針を決定しました。



（1）都市整備WGにおける意見交換内容と活動方針

興味のあるテーマ	①コンパクトシティ ②賑わい・地方創生 ③既存ストックの有効活用 ④環境 ⑤防災・減災 ⑥市民参加
テーマに対する発言要旨	①コンパクトシティ （中心部） ・ 立地適正化計画の効果発現事例、事業者の誘致（募集・選定方法）、タクティカル・アーバニズム（戦術的都市計画） （郊外部） ・ 住宅団地再生、過疎地、限界集落 （共通） ・ 高齢化対応（健康都市、交通弱者対策） ②賑わい・地方創生 ・ リニア開業効果を活かした活性化、観光まちづくり、子育て支援、福祉施策との連携、コミュニティの活性化 ③既存ストックの有効活用 ・ 公共施設の跡地活用（廃校利用等）、都市公園の利活用・Park-PFI、サードプレイス、再開発、立体換地の事例 ④環境 ・ SDGs、グリーンインフラ ⑤防災・減災 ・ 沿岸部における防災まちづくり、地域住民とのつながり ⑥市民参加のまちづくり ・ 市民参加の成功事例
活動方針	・ 両グループともに、コンパクトシティ、賑わい・地方創生、既存ストックの有効活用について関心が高かった。 ・ 中部地方における関連動向は、リニア中央新幹線の開業（2027年予定）を見据えた駅周辺まちづくりの動きが複数の自治体で見られる。また、空き家・空き地の利活用による地域活性化の推進を目的とした民間組織である「かけがわランドバンク」が設立から1年以上が経過し、活動実績も出始めている。 ・ このような状況を踏まえ、コンパクトシティ、賑わい・地方創生、既存ストックの有効活用に関連して、中部地方の具体的な動向を学ぶ見学会や講演会を開催する。
意見交換会の様子	 【1班】 【ワークショップの様子】 【1班】 【発表の様子】 【2班】 【ワークショップの様子】 【2班】 【発表の様子】

(2) 交通WGにおける意見交換内容と活動方針

<p>興味のあるテーマ</p>	<p>①ビッグデータ ②自動運転 ③まちづくりと交通・公共交通 ④交通事故対策</p>
<p>テーマに対する発言要旨</p>	<p><u>①ビッグデータ</u> SNSデータの活用（災害時など）、歩行者の回遊性、WiFiデータモビリティマネジメント、アンケート分析とMM事業 効率的な回収方法やSNS等を利用した事例、アンケートと座標データの連携</p> <p><u>②自動運転</u> 公共交通自動運転、グリーンスローモビリティ、貨客混載の実践 都心自動運転の事例、自動運転実証実験見学</p> <p><u>③まちづくりと交通・公共交通</u> バス、路面電車、電気自動車・燃料電池自動車、集約型都市構造、交通結節点地域のバスや観光バスの動向、路面電車導入事例、路面電車の活用・変遷 公共交通との連携、ロードプライシング事例、コンパクトシティ見学</p> <p><u>④交通事故対策</u> 最新の交通安全技術・事故対策、高速道路の逆走対策 自動制御以外でできること</p>
<p>活動方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案のあったテーマ候補の中で、「①ビッグデータ」、「③まちづくり交通・公共交通」に対して関心が高い状況であった。 ・ また、子供が事故に巻き込まれるという報道が相次いだこともあり、まちづくりの視点による「④交通事故対策」に対する関心も高かった。 ・ いずれも、最新のテクノロジーをどのようにまちづくりの交通分野に活かせるのかについて情報を得たいという要望が多かった。 ・ 本年度の交通WGは上記のテーマを中心に、過年度の実施状況や他のグループの企画状況を踏まえつつ、講習会または見学会を企画する方針とする。
<p>意見交換会の様子</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【ワークショップの様子】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【発表の様子】</p> </div> </div>

(3) ランドスケープWGにおける意見交換内容と活動方針

<p>興味のあるテーマ</p>	<p>①公園・広場リニューアル ②ランドスケープデザイン ③防災減災 ④歴史・景観 ⑤官民連携（パーク PFI、指定管理など）</p>
<p>テーマに対する発言要旨</p>	<p>①公園・広場リニューアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リニューアル、リノベーションの視点・考え方（苦労した点など）、デザインポイントに関する講習会 <p>②ランドスケープデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デザインの基礎知識、手法・プロセスの勉強会 ・ CIM、3Dを活用した設計事例 ・ たくさんの事例を知りたい 例）名古屋らしいランドスケープデザイン事例 既製品を使っていないオリジナルデザインの設計事例 同業者による事例紹介（自慢大会、失敗事例、こだわりポイント等） サードプレイスとして人が集まる事例 ・ 建築との融合事例（豊田市美術館、モエレ沼公園） ・ 駅前広場と公園・遊歩道の融合事例（天理駅前広場コフフン） ・ 施工業者（造園等）の講演（設計への反映） <p>③防災減災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災対策にチカラを入れている自治体事例 ・ 空き家対策・活用・リノベーション事例（円頓寺、松戸市マッドシティ、豊里プロジェクト） ・ 空き家とランドスケープのつながり <p>④歴史・景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的景観を扱った事例 <p>⑤官民連携（パーク PFI、指定管理など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園内に宿泊施設を整備し運営している事例（インザパーク） ・ デザイン・運営で話題になっている施設事例（リバーポートパーク美濃加茂） ・ P-PFI 事例 ・ 住民主体の公園運営事例 ・ 維持管理事例（課題など） ・
<p>活動方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ WGの総意として決定に至っていないが、近年、話題となっている事例や興味のあるものをテーマに講習会や現地見学会を開催する。
<p>意見交換会の様子</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【ワークショップの様子】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【発表の様子】</p> </div> </div>

令和元年度 都市計画検討グループ総会 報告

I. 開催日程等

日 時：令和元年 7月 22日（月）15:00～19:00

場 所：IMY ホール・会議室 6階 第3会議室 名古屋市東区葵 3-7-14

参加者：総会参加者 52名（20社）

II. 総会の概要

- | | |
|---|-----------|
| 1. 開会 | 【市川副委員長】 |
| 2. 技術部副部長挨拶 | 【中村技術部会長】 |
| 3. 令和元年度委員の紹介 | 【河村委員長】 |
| 4. 平成 30 年度活動報告と令和元年度活動計画（案） | 【河村委員長】 |
| 5. 令和元年度各WG活動方針 | 【各委員】 |
| 6. 平成 30 年度決算報告と令和元年度予算（案）の説明 | 【岡部副委員長】 |
| 7. 講演会 『移動のサービス化（MaaS）への期待と現在の取り組み事例』
名古屋大学未来社会創造機構 特任准教授 金森 亮 氏 | |
| 8. 意見交換会 同館9階 IMYホール | 【市川副委員長】 |
| 9. 閉会 | 【河村委員長】 |



【河村委員長による説明】



【各 WG 担当委員による説明】

令和元年度の活動計画

テーマ：都市計画を取り巻く動き、新しい情報の提供

活動方法：WG活動を主体にニーズに対応した見学会、講習会等の開催と交流の深化

合同WG：他の技術検討グループとの合同開催

都市計画検討グループの目的は「技術研鑽」と「技術者相互の交流」です。技術の研鑽を目標にして各グループ部員が集まり、お互いの交流の輪が広がる場づくり、学識経験者、官公庁、他の団体とも積極的に交流の場づくりができるように進めていきます。

令和元年度は、平成 30 年度同様 WG 主体の活動に重点を置き活動計画を立案し、社会貢献活動にも積極的に参加していきます。

Ⅲ. 講演会

『移動のサービス化（MaaS）への期待と現在の取り組み事例』

講師：名古屋大学未来社会創造機構 特任准教授 金森 亮 氏

概要：新しい都市交通のあり方

将来のまちづくり展望について

事例紹介：高蔵寺ニュータウン 等

建設コンサルタントへの業務創出や関与への期待すること

ご講演は、MaaS（Mobility as a Service）の現状やこれからの取り組みなどの事例を交えた内容でした。また、モビリティ・サービスの目的・維持・改良や交通システムの有効活用など交通分野における基本的な知識に関するご講義もありました。

MaaSとは「移動のサービス化」であり、ITCを用いて個々人の移動を最適化するために様々な移動手段を活用し、利用者の利便性を高めるものとされています。

例えば、自宅から目的地まで、バス・電車・飛行機・レンタカーなどを乗り継いで行くとします。現在は各交通機関にそれぞれ予約を入れて決済をしていますが、MaaSが実現することにより、スマホなどで一括して最適な交通手段の検索→予約→決済まで行うことが可能になります。MaaSが普及すれば、残る課題は最寄りの公共機関から自宅までのラストマイルです。このラストマイルに対しては自動運転による交通サービスが適用されようとしています。これらの組み合わせにより、人口減少や厳しい財源状況などの都市課題を解決し、都市構造が大きく変わる可能性があると考えられています。

現在は実験段階ですが、2020年の東京オリンピックに向けてシステムの導入を展開しているところもあり、今後の展開に注目していきたいです。



【金森准教授のご講演】



【会場の様子】

Ⅳ. 意見交換会

金森先生もご多忙の中、ご出席して頂き、限られた時間の中で会員の皆さまと意見交換して頂きました。

また、会員同士の交流の場としても、有意義な意見交換会となりました。



【意見交換会の様子】

令和元年度 業務技術発表会 報告

10月2日にウインクあいちにて業務技術発表会が開催されました。業務技術部門では、都市計画として4編の発表がありました。

そのうち、2編が優秀賞を受賞されました。

◆ 優秀賞

身近な公園の再生計画の策定
中央コンサルタンツ株式会社
串原 善之 氏



【串原氏 発表の様子】

◆ 優秀賞

県民が主体的に活動したくなる魅力的な公園づくり
株式会社オオバ
櫻井 彩香 氏



【櫻井氏 発表の様子】

おめでとうございます！

来年度は、10月14日（水）ウインクあいちに開催予定です（4月から応募依頼開始）。奮ってのご参加お待ちしております。

また、来年度も従来の道路、河川、構造土質、都市計画の分野に加え、多様な分野（調査、施工計画、環境、情報等）の論文も募集します。いままで自分の専門分野がなく、発表をためらっていた会員の皆様、チャンスです！



【会場の様子】

都市整備WG

I. 開催日程等

日 時：令和元年 11 月 7 日（木） 15：30～17：00

場 所：（一社）建設コンサルタンツ協会中部支部 会議室

テーマ：スポンジ化した地域の面的再生等へ向けた取組事例

講 師：NPO法人 つるおかランドバンク 理事長 廣瀬 大治 氏

参加者：36名（12社）

II. 活動概要

今後、中部地方でも進行が予想される人口減少社会では、開発意欲が減退し、従来の規制的手法を基軸とする開発コントロールでは望ましい土地利用がなされないことが課題となっており、都市の拠点として都市機能や居住を誘導すべきエリアにおいても、小さな敷地単位で低未利用地が散発的に発生する「都市のスポンジ化」対策が重要となっています。

本講演会では、都市のスポンジ化対策の先行事例であり、山形県鶴岡市の中心市街地で小規模連鎖型区画再編事業等に取り組んでいる、特定非営利活動法人 つるおかランド・バンク 廣瀬大治理事長をお招きし、業務内容の紹介に合わせ、空き家コンバージョンの事例や小規模連鎖型区画再編事業、コーディネート活動等とそれらを支える事業スキームについて学びました。そこでは、「所有者が困っているが処分できない物件」が増加する中、補助金や寄付等から捻出する活動費で「まちづくりの担い手」としての志を抛り所に活動されるご苦労と時間をかけて着実にやり遂げてきた成果に対する自信を窺い知ることができました。

また、あらかじめ計画を立てて事業を行うのではなく、ランダムに発生した空き地・空き家を活用して実現可能な事業を考え、関係権利者へ働き掛けて実施していくという点が、従来のまちづくりのプロセスと異なる、スポンジ化対策の特徴だと感じました。

地域に根差した専門家集団の取り組みが、建設コンサルタントの事業領域とも関わりを強め、行政とも連携を図りつつ、できることから実績を創り上げることの意義について、改めて考えさせられました。

意見交換では、ランドバンクの発足経緯や役員構成、事業に関する課題や工夫、活動資金の内訳と収支状況、事業展開の方向性など、様々な視点から質疑応答が行われ、コンサルタント業務とも相通じる点も含めて、参加者の皆さんの参考となったことと思います。



【廣瀬氏による講演】



【質疑応答の様子】

交通WG

I. 開催日程等

日 時：令和元年 12月6日（金） 15：00～17：30

場 所：（一社）建設コンサルタンツ協会中部支部 会議室

テーマ：住みやすい都市空間デザインのための空間情報分析

- 内 容：1. 現在の都市構造と都市問題
2. アクセシビリティ指標を用いた生活利便性評価
3. マッチング理論を用いた保育所待機児童の空間評価
4. 携帯位置情報によるビッグデータを用いた都市間高速鉄道整備効果分析
5. 住みやすい都市空間への転換に向けた提案

講 師：名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授 鈴木 温 氏

参加者：35名（15社）

II. 活動概要

近年、ビッグデータやオープンデータ等のデータの活用が進み、我々の日常生活においても身近なものになりつつあります。また、「スマートシティ」など、都市の抱える諸問題に対し、ビッグデータやICT等の新技術を活用し、マネジメントを行おうとする取り組みが世界的な動向として見られます。今回の講演会は、将来人口分布等に関する世帯シミュレーションモデルの開発やビッグデータを活用した人の移動やアクセシビリティに関する研究など、住みやすく持続可能な都市の実現をテーマに、多くの研究実績をお持ちの名城大学理工学部 鈴木教授にご講演いただきました。

講演会では、高齢化が進む瀬戸市郊外の菱野団地の生活利便性や、名古屋市における通園可能な範囲を考慮した待機児童実態について、アクセシビリティ指標を用いた分析結果を解説していただきました。また、モバイル空間統計といった携帯位置情報によるビッグデータが、特定の場所、特定の時間における滞在情報を分析可能であることを用いて、北陸新幹線の開通による金沢市、富山市の来訪者の居住地（出発地）について分析した結果を紹介していただきました。

これからの空間情報分析の発展として、マイクロデータ、ネットワークデータの活用、コミュニケーションツールとしての活用を行っていく必要があることを説明いただき、建設コンサルタントでも、この分野で先行しているIT企業などに後れを取らないよう技術革新や活用を進めていく必要があると考えさせられました。

講演会後の懇親会では、鈴木教授の研究室OBの人たちも大勢参加し、都市交通の話題だけでなく研究室の昔話などで大変盛り上がりました。



【鈴木氏による講演】



【講演会の様子】



【懇親会の様子】

ランドスケープWG

I. 開催日程等

日 時：令和元年 11 月 20 日（水） 8:00～17:40

場 所：奈良県天理市「天理駅前広場コフン」

田原本町「道の駅レスティ唐古・鍵と史跡公園」

テーマ：具体的事例をとおしてランドスケープデザインを学ぶ

講 師：天理市役所総合計画課 岩田課長、増田係長、東田参与、南主査

参加者：30 名（13 社）

II. 活動概要

天理市の「天理駅前広場コフン」は、2017 年 4 月の駅前広場のリニューアル整備以来、個性あふれるランドスケープデザインを構成する各施設とそれを利用する地域住民との連携により、地域の活性化につながる新たな交流を生み出すにぎわいのステージとして活用されており、興味深い先進事例として、維持管理面も含め多くのことを学べると考え、講習会・見学会を実施しました。

講習会では、設計当初のコンセプトから、施工段階に入ってもなお、様々な検討や試作をしながら設計変更をしていった経緯やデザインの思想をいかに施工段階で実現したか、また、その苦労話のほか、地域の市民プレーヤーを巻き込む手法など、担当者によるリアルな話をお聴きすることができ、技術者として様々な気付きを得ることができました。見学会でも実際の施工後の管理対応などについて説明をいただくことができ、参加者も間近にコフン施設を体感して、その仕上げの精巧さと大胆なデザインやレイアウトに感心していました。

また、近隣の田原本町に 2018 年の春に再整備された「唐古・鍵遺跡史跡公園」にも立ち寄りました。国内最大級を誇る弥生時代の環濠（かんごう）集落跡の中心部にある公園で、弥生時代の風景を再現し、その実体験ができる場として整備された施設です。隣接して同時期に新規オープンした「道の駅レスティ唐古・鍵」は、奈良県中南和地域の玄関口としての役割と遺跡史跡公園のコンシェルジュ機能があり、公園と道の駅の連携や史跡の活かし方等について学ぶことができました。



【講習会の様子（天理駅前広場コフン）】



【参加者の集合写真（ステージコフン）】



【唐古・鍵遺跡史跡公園（弥生の建物広場）】

■参考 1：これまでの都市計画検討グループにおける活動内容（会員参加型）

【委員会全体の講習会・見学会】

- H24：見学会 近江八幡市一水郷巡り、八幡重要伝統的建造物群保存地区
- H25：講習会「エリアマネジメント～街育ての担い手はだれ？」
- H28：講習会「人口減少が進む都市において中心市街地や郊外住宅団地の再生」
「持続性を確保するにはどのようなまちづくりを進めるべきか」

【都市整備WG】

- H23：全体講習会「事前復興計画のススメ…この国の明日を紡ぐ」
- H23：講習会「名古屋港と産業防災」
- H24：見学会「中心市街地の昨日・今日・明日」（愛知県東海市、半田市）
- H25：講習会「リニア中央新幹線と名古屋」
- H25：見学会（交通WGと合同）「公共交通を活用した地域活性化
及び歴史を活かしたまちづくり視察」（岐阜県恵那市）
- H26：講習会&見学会「伊勢河崎のまちづくり」「三重県防災拠点」（三重県伊勢市）
- H27：講習会「歴史的視点から見た集約型都市構造とは？」（PART1、2）
- H28：講習会&見学会「縮小期のまちづくり（豊川稲荷表参道・御油のマツ並木）」
（愛知県豊川市豊川稲荷）
- H29：講習会&見学会「錦二丁目まちづくり協議会」（愛知県名古屋市中区）
- H30：講習会「公共空間の有効活用と都市のマネジメント・維持管理のあり方」
- R 1：講習会「スポンジ化した地域の面的再生等へ向けた取組事例」（山形県鶴岡市）

【交通WG】

- H23：全体見学会「りんご並木が美しい丘の上のまち飯田」のまちづくりを体感
（長野県飯田市）
- H24：講習会「自転車利用環境整備を考える」
- H25：見学会（都市整備WGと合同）「公共交通を活用した地域活性化
及び歴史を活かしたまちづくり視察」（岐阜県恵那市）
- H26：見学会「最新の安全対策技術情報及び施工事例について」（愛知県阿久比町）
- H27：講習会&見学会「四日市市における交通環境の取り組みについて」
「東海道日永郷土資料館&あすなろう鉄道」（三重県四日市市）
- H28：講習会「ビックデータの活用・可能性と展望」
- H29：講習会「自動運転が創る未来の都市交通のあり方」
- H30：講習会「道の駅をいかしたまちづくり・地域活性化と今後の展望」
- R 1：講習会「住みやすい都市空間デザインのための空間情報分析」（愛知県瀬戸市）

【ランドスケープWG】

- H23：見学会「土木学会デザイン賞受賞公園の設計コンセプトを学ぶ」（岐阜県各務原市）
- H24：全体講習会&見学会 滋賀県近江八幡市での講習会・見学会
- H24：見学会 H22 講習会講師による愛知県半田市の現地見学会
- H25：見学会「あいちサトラボで里山づくり活動を学ぼう」（愛・地球博記念公園）
- H26：講習会&見学会「花フェスタ記念公園における指定管理者制度の現状と課題」
（岐阜県可児市）
- H27：講習会&見学会「公園における集客力を高める工夫を学ぶ」（愛知県刈谷市）
講習会「全国都市緑化あいちフェアはどこまで造れたか」
- H28：講習会&見学会「官民連携による公園の集客力を
高めた工夫を学ぶ（梅小路公園）」（京都府京都市）
- H29：講習会&見学会「最新事例からランドスケープデザインを学ぶ」
（草津川跡地公園・ラコリーナ近江八幡）（滋賀県草津市、近江八幡市）
- H30：講習会&見学会「具体的事例をとおしてランドスケープデザインを学ぶ」
（太田川駅前どんでん広場）」（愛知県東海市）
- R 1：講習会&見学会「具体的事例をとおしてランドスケープデザインを学ぶ」
（天理駅前広場コフフン、道の駅レスティ唐古・鍵と史跡公園）」（奈良県天理市）

■参考 2：令和元年度 都市計画検討グループ会員及び各企画参加人数（会社数）

表：令和元年度参加人数一覧表

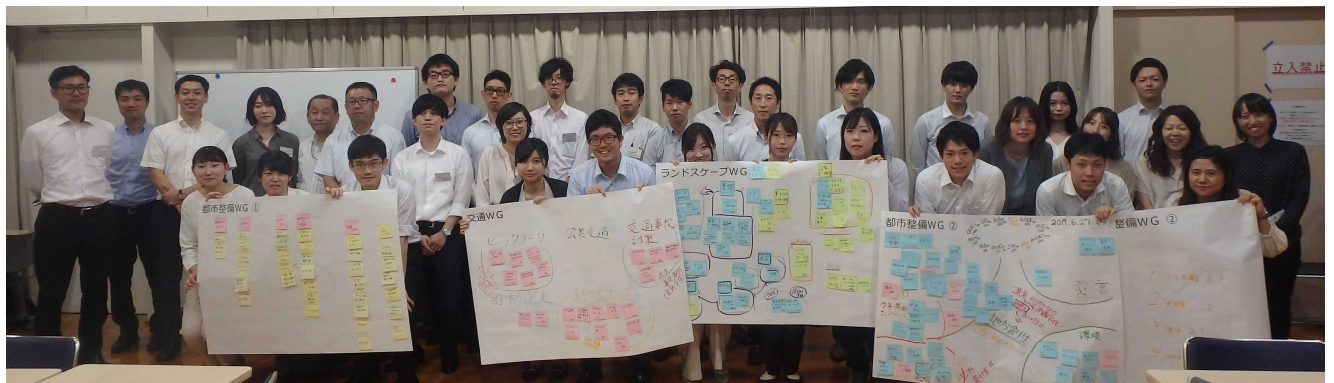
単位（会員：人、会社：社）

項目	平成 30 年度		令和元年度		増減 (R1-H30)	
	会員	会社	会員	会社	会員	会社
都市計画検討グループ会員	173	30	181	28	8	▲2
合同 WG	49	17	52	12	3	▲5
都市計画検討グループ総会	79	20	52	20	▲27	±0
都市整備 WG	30	14	36	12	6	▲2
交通 WG	38	20	35	15	▲3	▲5
ランドスケープ WG	34	16	30	13	▲4	▲3
参加数（のべ）	230	87	205	72	▲25	▲15

おわりに

会員の皆様のご協力のもと、令和元年度の都市計画検討グループの活動も無事に終わることができ感謝しております。

来年度も皆様の要望を踏まえ、「技術研鑽」、「技術者相互の交流」を目的に活動していきます。



【令和元年度 合同意見交換会参加者の集合写真】

令和 2 年度もよろしくお祈いします！

都市計画たより 令和元年度版
発行日：2020年2月27日
発行者：都市計画委員会